

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|----------------|------------|
| 事業所番号 | 3992500052 | | |
| 法人名 | 医療法人 社団 若鮎 | | |
| 事業所名 | グループホーム やまぼうし | | |
| 所在地 | 高知県高岡郡越知町越知甲1696-10 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年4月25日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成25年7月10日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○明るい雰囲気、商店街も近く、面会の方も多く来て下さり、地域の方との交流も多い。
○食事にも自信を持っていて、利用者様からも喜んで頂けている。
○畑で採れた野菜をすぐに食卓に出す事が出来、ご家族からの野菜なども頂く事が多く、季節感が楽しんで頂けている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kajokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2010_022_kani=true&JgvosyoCd=3992500052-00&PrefCd=39&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--|
| 評価機関名 | 高知県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ |
| 訪問調査日 | 平成25年5月21日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は国道に近く、病院やスーパー、道の駅などが近隣にある利便性の良い中心地にある。事業所には家族や知人が度々立ち寄り、利用者と一緒にカラオケを楽しんだり野菜などの差し入れもあって馴染みの関係が継続されている。母体法人は病院や老人保健施設・他のグループホームを運営しており、地域との関わりが深く信頼も厚い。管理者は同法人のグループホーム勤務経験者であり、スタッフも全員開設当初からの正規雇用で離職者は少ない。管理者と職員との面談では報酬等についても職員の意見を聞き、やりがいのある職場環境を整えている。職員は利用者の心を大切にし、自宅のようにゆったりと楽しくつろいだ生活を提供することに努めている。居室の壁紙やカーテンの色や柄に違いをもたせて個性を尊重し、日々、利用者の好みや体調に合わせた食事・散歩・体操などで体力を保つ支援が続けられている。母体医療法人との連携も良く取れ、利用者や家族にとって地域で安心と安全を提供してくれる満足度の高い事業所である。

自己評価および外部評価結果

ユニット名：やまぼうし1階

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員一同が、理念を共有して常にその理念を基に支援を行っている。 | 職員各自が出勤時に理念を声に出して読み、内容を確認している。職員は、利用者や家族・地域の人々とのコミュニケーションをよく取り、利用者の心や思いを大切にするという理念を実践している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内一斉清掃へ参加したり、地域住民にホームの行事(誕生会、地域交流、運営推進会議など)への参加を呼びかけ、交流している。 | 町内会に加入し一斉清掃などの行事に参加している。町文化祭には利用者の作品を出品したり、中学校の運動会や地域の神輿行列、買い物などに出かけて交流している。また、家族や近所の人々が事業所の行事等に参加したり、日常的に立ち寄ってくれて野菜などの差し入れがある。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域交流やその他の行事を通じて、利用者への理解を深めてもらうとともに、地域住民を対象に認知症の勉強会を開催している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の内容を、家族の面会時にいつでも閲覧出来るようにしている。職員間でも共有して、サービス向上に活かしている。 | 会議は2カ月毎に開催し外部評価も議題にしている。会議では行政職員からの感染症や他施設等の情報提供とアドバイスがあり、他委員との意見交換が行われている。議事録は閲覧できるようにしているがあまり読まれていない。また、目標達成計画の取組み過程のわかる記録がない。 | 運営推進会議に出席していない家族への周知のために、議事録を送付することや外部評価結果及び目標達成計画への取り組み内容を知らせることを望む。また、目標達成計画の取組み過程を記録することを期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 定期的に意見交換したり、研修会への参加を通じて担当部署との関係を築いている。 | 運営推進会議に地域包括支援センター職員や町住民課職員の参加があるほか、町主催の事例検討会や認知症研修会に参加したり、中学生の職場体験学習の受け入れなどを通して連携を取っている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 勉強会には積極的に参加して、留意点を再確認し、文書により全職員で共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束の研修会に参加した職員が伝達講習を全職員に行い、拘束をしないケアを理解して実践している。言葉による拘束にも職員同士が注意し合っている。外出傾向のある利用者には、さり気無く後から見守り、家族と連絡を取り合っている。近隣の人とも顔馴染みであり、連絡が貰える関係が築かれている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会には必ず参加して内部で伝達し、全職員が理解しており、虐待行為が見過ごされる事のないように防止に努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会に参加し、職員間でも話し合いを持つことで理解を深め、必要に応じた対応を行っている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ご利用者、ご家族に書面を見ながら説明を行い、理解と納得を得たうえで署名と押印をしてもらっている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見等の相談窓口を書面で説明を行い、フロアーにも表示している。意見があれば、その都度内容を聞き、職員間や関連機関との話し合いのなかで改善に努めている。 | 家族会は年2回「長寿を祝う会」と「新年会」の時にやっている。家族会では家族同士で話し合う機会を設けている。家族へのアンケートを実施した時、要望が一件あり職員で話し合い取り組んだ事例がある。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員から意見がある場合には、必要に応じて臨時会を行うなど、意見交換の場を設け意思疎通を図っている。 | 職員会は月1回全職員が参加して行っている。行事や勤務状態に関する意見、花畑を菜園に変更する等の職員からの提案があり運営に反映している。日頃から管理者や職員同士で意見を出し合い、随時に話し合う関係ができています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 人事考課時には、報酬などについて職員と話し合い、確認することで、職員の熱意のみに頼るのではなく、事務所サイドからモチベーションをあげるように努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間を通じて勉強会に参加できるように、各個人に合わせて計画的に取り組んでいる。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 定期的に行われるグループホーム連絡協議会の研修に参加し、情報交換を行い、サービスの向上に活かしている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービスを開始する前に、ご本人の話を聞き、不安なく安心してサービスを受けていただくよう配慮している。入居後もその都度要望に耳を傾け、信頼関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | サービスを開始する段階から、絶えず家族の不安や要望には耳を傾けて家族との関係づくりに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人、ご家族の話をよく聞き、最善の支援について職員1人の判断ではなくフロア単位で話し合いを持ち、その人に応じた対応ができるように努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者と暮らしを一緒にしていきなかで、共に過ごし支え合う関係を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>本人、家族と慣れ合いの関係にならないように十分配慮をしながら、絆を大切に家族の一員として接している。</p> | | |
| 20 | (8) | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>外出や遠出の時には、利用者個々の生まれ育った地域を選び、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。</p> | <p>買い物には希望する品物により地域の馴染みの店を選んで行っている。理美容には行きつけの店に職員が送迎したり、家族と一緒にしている。事業所が町中にあるので、家族や知人が立ち寄りやすく馴染みの関係が維持されている。</p> | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>利用者同士が孤立しないように、共通の話題や雰囲気づくりに配慮して、お互いに支え合う関係づくりに努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>サービス終了後も、定期的に様子を伺ったり、催し物への参加を声かけするなど、継続した支援ができるようにしている。</p> | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>支援に向けて本人や家族より、思いや希望、意向を聞き、全職員でその情報を共有し、内容を把握して実施している。</p> | <p>入居前の事業所の見学において、入居に至る思いや希望を把握している。入居後は、家族・友人からの情報も得ながら、利用者の暮らし方や会話により本人の思いや意向を把握し寄り添っている。思いなどの表出が少ない利用者には、表情や呟きから把握できたことを全職員で共有している。</p> | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>本人や家族との日々の関わりのなかで、これまでの生活歴や生活環境などの把握に努め、希望に沿えるように努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの心身状態を全職員が把握して、その人の1日の過ごし方を見つめていくことにより、毎日の習慣を知り、総合的に捉えていくようにしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族の意向を踏まえて、関係者との話し合いの後、介護計画を作成し定期的なモニタリングを行い、本人、家族の希望や、心身状態の変化に応じてその都度見直しを行っている。 | 本人や家族の意向を把握し、アセスメントとカンファレンスを職員と共にを行い、ケアマネジャーが取りまとめて介護計画を作成している。モニタリングは全職員で行っている。計画の見直しは短期3カ月・長期6カ月毎に行い、状態変化や介護度の変更のときは随時見直している。 | アセスメントに部分的にでもセンター方式を取り入れ、利用者個々のその人らしさを把握し、全職員で共有する取り組みを期待したい。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や気づき、変化等を個別に経過を記録し、全職員が情報を共有して、ケアの実施や介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 他の関連事業所とも連絡を密に行い、臨機応変に多様な支援が提供できるようにしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町や地域包括支援センター、町内会、保育所、中学校、消防署、母体法人の医療機関など、地域資源と協働して、利用者が安心して豊かな暮らしができるように努めている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族の意見や希望を聞き、納得、同意を得て受診診断を行い、継続的に医療を受ける希望がある時には、その希望に沿える対応をしている。 | 入居時に利用者及び家族の同意を得て協力医療機関をかかりつけ医としている。定期的に訪問診療や受診が行われ、職員が対応している。町内外の皮膚科など専門医への受診は家族が行うこととしており、家族からの受診情報は連絡ノートや口頭により職員間で共有している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 母体法人の病院の看護師による訪問看護を受けており、相談や報告するとともに、24時間体制の支援も整っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医師・看護師・ケースワーカーなどの医療関係者と協働し、家族と話し合いを持って情報交換を行い、利用者が安心して治療ができ早期に退院できるように努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 早い段階で本人、家族と話し合いを持ち、説明のうえで同意を得ている。職員全員で利用者の情報を共有し、医療関係者とチームで取り組むようにしている。 | 看取りについては、契約時に利用者及び家族に説明を行っている。主治医から終末期と判断された時は、家族と「重度化や看取りに関する指針」に基づく話し合いを持ち、再度意向を聞いている。母体法人が医療機関であることから医療との連携はできており、希望があれば看取りに取り組むことが可能である。まだ、事例はない。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | AED設置し日頃から全職員が実践力をつけるよう定期的に話し合い、連携病院との勉強会や訓練を行っている。また地域の方にも利用して頂ける様、ポスターの掲示もしている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に避難訓練を行い、全職員が避難の方法を把握するように努めている。また、日頃より地域住民と連携し、緊急時の避難誘導が円滑にできるように備えている。 | 避難訓練は消防署と連携した訓練を年2回、事業所独自の訓練を年2回、地域住民の協力を得て実施している。備蓄品は米や水などを、地域住民の避難も想定して確保している。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人格を尊重して、プライドを傷つけないように声かけを行い、人生の先輩としての対応心がけている。 | 言葉のかけ方を注意し、特に排泄介助や入浴介助などのとき、利用者の尊厳を損なわないよう配慮している。利用者のプライバシーを事業所外で話さないことや事業所退職後も保持することを確約している。職員は個人情報保護について理解している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の思いや希望を表し、選択できる環境づくりに心がけ、利用者が自己決定ができるように支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の意見を聞き、それを取り入れて、規制のない自由な生活が送れるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類の選択、髪のカットや毛染めなど、本人の思いや気持ちに沿って支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 男性入所者3名の中に透析患者様もおられ、病院の栄養部とも連携を取り支援している。又、利用者の希望でメニューを決めたり、調理の下ごしらえを手伝って頂いたり、味付け、調理法なども教わったりして取り組んでいる。 | 利用者に食事内容の希望を聞き、ユニットそれぞれで献立を作成している。利用者は調理方法を教えたり、食材の下ごしらえや味見など、できる範囲で食事づくりに参加している。利用者の体調により代替食や高カロリー食を提供し、職員も一緒に食事している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取量のチェックを毎日行い、栄養面も考慮し、個々にあった調理方法(刻み食・ペースト食)や盛り付けを行っている。また、定期的に母体法人の栄養士のチェックを受けている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 個々に応じた口腔ケアを把握して、毎食後実施している。必要に応じて歯科医の受診や指導を受けている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の排泄パターンを把握して、自立に向けた支援を行っている。 | 紙パンツと尿パッドを使用している利用者や、夜間の不安から尿パッドを使用したり寒さ防止で紙パンツを使用している利用者が若干名いる。他の利用者はポータブルトイレ使用もあるが、概ね自立している。排泄記録は必要な利用者だけ記録している。 | 食事や水分摂取と排泄は相互に関連しており、全利用者の状態を職員が共有できるように健康把握のノートを作成し活用されたい。現在排泄記録をしていない利用者にもチェック表を作成して活用し、健康状態の把握に繋げることを期待したい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 献立に便秘予防のメニューを取り入れたり、日常的に体操を行うなど予防に努めている。(毎日の排泄チェック) | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | その都度本人の希望を聞き、いつでも希望の日や時間に入浴ができるように配慮している。 | 午前9時から午後9時までいつでも入浴でき、利用者が希望する時間や急な対応ができる体制をとっている。基本的には午後3時ごろから入浴の声かけをし、拒否があれば時間をおいて誘っている。毎日入浴する利用者もいるが、少なくとも週2～3回は入浴することを促している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 本人の思いや体調を優先して、自由にゆっくり休めるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員は利用者それぞれの内服薬について理解して服薬支援を行っている。また、症状の変化の確認に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 自由に散歩に出たり、パズル・ジグソーパズルなど自由にされたり、利用者一人一人に沿った過ごし方を支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 本人の希望を聞き、自宅周辺や馴染みの場所に散歩に行ったり、家族の協力を得て、外出、外泊などの支援をしている。 | 協力病院へリハビリに行く利用者は、ほぼ毎日の往復が散歩コースとなっている。週1回、同一法人の他のグループホームへ合同の「生き生き百歳体操」に参加し、月1回は法人のリフト車で季節の花見や温泉、料理店などへ全員で出かけている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 個人で管理している利用者もおり、利用者に応じた支援をしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望に応じてその都度、電話や手紙のやり取りができるように支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は環境整備を行い、不快や混乱を招くことのないように努めるとともに、室内でも季節感を感じられる装飾をして、居心地良く過ごすことができるように配慮している。 | 居間兼食堂は広く、大きな窓から見える庭の花や野菜が季節を感じさせている。フロアにはソファーや移動式の畳ボックスがあり、カラオケやテレビなどで本人の好みに応じた居場所が確保できている。壁面にはぬり絵やちぎり絵、外出時の写真などがあり混乱なく落ち着いて過ごせる場所となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 独りになれる居場所も確保しているが、利用者はフロアで他の利用者と一緒に過ごすことが多い。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の使い慣れたタンスや椅子など持参してもらい、本人が居心地良く過ごせるようにしている。 | 居室の壁紙とカーテンは居室毎に異なり、個性を出している。手作りのベッドのある部屋、洋装関係の仕事をしていた名残の洋服のある部屋、自作のちぎり絵がある部屋、スターの写真や家族の写真、亡夫の若い日の写真を飾る部屋など、利用者それぞれの思いのある部屋となっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 家具の高さや、床マットの滑り止め、トイレの表示など、利用者個々に合わせた環境づくりを行っている。 | | |

ユニット名:

やまぼうし1階

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------|----|---|-----------------------|----------------|
| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

ユニット名：やまぼうし2階

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員一同が、理念を共有して常にその理念を基に支援を行っている。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内一斉清掃へ参加したり、地域住民にホームの行事(誕生会、地域交流、運営推進会議など)への参加を呼びかけ、交流している。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域交流やその他の行事を通じて、利用者への理解を深めてもらうとともに、地域住民を対象に認知症の勉強会を開催している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の内容を、家族の面会時にいつでも閲覧出来るようにしている。職員間でも共有して、サービス向上に活かしている。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 定期的に意見交換したり、研修会への参加を通じて担当部署との関係を築いている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 勉強会には積極的に参加して、留意点を再確認し、文書により全職員で共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |

| | | | | | |
|----|-----|---|---|--|--|
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>勉強会には必ず参加して内部で伝達し、全職員が理解しており、虐待行為が見過ごされる事のないように防止に努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>勉強会に参加し、職員間でも話し合いを持つことで理解を深め、必要に応じた対応を行っている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>ご利用者、ご家族に書面を見ながら説明を行い、理解と納得を得たうえで署名と押印をもらっている。</p> | | |
| 10 | (6) | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>意見等の相談窓口を書面で説明を行い、フロアにも表示している。意見があれば、その都度内容を聞き、職員間や関連機関との話し合いのなかで改善に努めている。</p> | | |
| 11 | (7) | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>職員から意見がある場合には、必要に応じて臨時会を行うなど、意見交換の場を設け意思疎通を図っている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>人事考課時には、報酬などについて職員と話し合い、確認することで、職員の熱意のみに頼るのではなく、事務所サイドからモチベーションをあげるように努めている。</p> | | |

| | | | | |
|-----------------------------|--|---|--|--|
| 13 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>年間を通じて勉強会に参加できるように、各個人に合わせて計画的に取り組んでいる。</p> | | |
| 14 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>定期的に行われるグループホーム連絡協議会の研修に参加し、情報交換を行い、サービスの向上に活かしている。</p> | | |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービスを開始する前に、ご本人の話を聞き、不安なく安心してサービスを受けていただくよう配慮している。入居後もその都度要望に耳を傾け、信頼関係づくりに努めている。</p> | | |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>サービスを開始する段階から、絶えず家族の不安や要望には耳を傾けて家族との関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>ご本人、ご家族の話をよく聞き、最善の支援について職員1人の判断ではなくフロア単位で話し合いを持ち、その人に応じた対応ができるように努めている。</p> | | |
| 18 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>利用者と暮らしを一緒にしていきなかで、共に過ごし支え合う関係を築いている。</p> | | |

| | | | | | |
|------------------------------------|-----|---|--|--|--|
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>本人、家族と慣れ合いの関係にならないように十分配慮をしながら、絆を大切に家族の一員として接している。</p> | | |
| 20 | (8) | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>外出や遠出の時には、利用者個々の生まれ育った地域を選び、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。</p> | | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>利用者同士が孤立しないように、共通の話題や雰囲気づくりに配慮して、お互いに支え合う関係づくりに努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>サービス終了後も、定期的に様子を伺ったり、催し物への参加を声かけするなど、継続した支援ができるようにしている。</p> | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>支援に向けて本人や家族より、思いや希望、意向を聞き、全職員でその情報を共有し、内容を把握して実施している。</p> | | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>本人や家族との日々の関わりのなかで、これまでの生活歴や生活環境などの把握に努め、希望に沿えるように努めている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|--|--|--|
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>一人ひとりの心身状態を全職員が把握して、その人の1日の過ごし方を見つめていくことにより、毎日の習慣を知り、総合的に捉えていくようにしている。</p> | | |
| 26 | (10) | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>本人や家族の意向を踏まえて、関係者との話し合いの後、介護計画を作成し定期的なモニタリングを行い、本人、家族の希望や、心身状態の変化に応じてその都度見直しを行っている。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>日々の様子や気づき、変化等を個別に経過を記録し、全職員が情報を共有して、ケアの実施や介護計画の見直しに活かしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>他の関連事業所とも連絡を密に行い、臨機応変に多様な支援が提供できるようにしている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>町や地域包括支援センター、町内会、保育所、中学校、消防署、母体法人の医療機関など、地域資源と協働して、利用者が安心して豊かな暮らしができるように努めている。</p> | | |
| 30 | (11) | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人、家族の意見や希望を聞き、納得、同意を得て受診診断を行い、継続的に医療を受ける希望がある時には、その希望に沿える対応をしている。</p> | | |

| | | | | | | |
|----------------------------------|------|---|--|--|--|--|
| 31 | | <p>○看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>母体法人の病院の看護師による訪問看護を受けており、相談や報告するとともに、24時間体制の支援も整っている。</p> | | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>医師・看護師・ケースワーカーなどの医療関係者と協働し、家族と話し合いを持って情報交換を行い、利用者が安心して治療ができ早期に退院できるように努めている。</p> | | | |
| 33 | (12) | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>早い段階で本人、家族と話し合いを持ち、説明のうえで同意を得ている。職員全員で利用者の情報を共有し、医療関係者とチームで取り組むようにしている。</p> | | | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>AED設置し日頃から全職員が実践力をつけるよう定期的に話し合い、連携病院との勉強会や訓練を行っている。また地域の方にも利用して頂ける様、ポスターの掲示もしている。</p> | | | |
| 35 | (13) | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>定期的に避難訓練を行い、全職員が避難の方法を把握するように努めている。また、日頃より地域住民と連携し、緊急時の避難誘導が円滑にできるように備えている。</p> | | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | <p>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>人格を尊重して、プライドを傷つけないように声かけを行い、人生の先輩としての対応を心がけている。</p> | | | |

| | | | | | |
|----|------|---|--|--|--|
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の思いや希望を表し、選択できる環境づくりに心がけ、利用者が自己決定ができるように支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の意見を聞き、それを取り入れて、規制のない自由な生活が送れるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類の選択、髪のカットや毛染めなど、本人の思いや気持ちに沿って支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の希望でメニューを決めたり、味付けなども教えて頂きながら取り組んでいる。男性入所者は家事をされる事はないが、その日の気分で他利用者と共に食器拭きなどにも参加して下さっている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取量のチェックを毎日行い、栄養面も考慮し、個々にあった調理方法(刻み食・ペースト食)や盛り付けを行っている。また、定期的に母体法人の栄養士のチェックを受けている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 個々に応じた口腔ケアを把握して、毎食後実施している。必要に応じて歯科医の受診や指導を受けている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の排泄パターンを把握して、自立に向けた支援を行っている。 | | |

| | | | | | |
|----|------|---|---|--|--|
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>献立に便秘予防のメニューを取り入れたり、日常的に体操を行うなど予防に努めている。(毎日の排泄チェック)</p> | | |
| 45 | (17) | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p> | <p>その都度本人の希望を聞き、いつでも希望の日や時間に入浴ができるように配慮している。</p> | | |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>本人の思いや体調を優先して、自由にゆっくり休めるよう支援している。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>職員は利用者それぞれの内服薬について理解して服薬支援を行っている。また、症状の変化の確認に努めている。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>カラオケや習字・塗り絵などで自由な時間を楽しまれていて、利用者の希望を活かした支援を行っている。</p> | | |
| 49 | (18) | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>本人の希望を聞き、自宅周辺や馴染みの場所に散歩に行ったり、家族の協力を得て、外出、外泊などの支援をしている。</p> | | |

| | | | | | |
|----|------|--|---|--|--|
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>個人で管理している利用者もあり、利用者に応じた支援をしている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>希望に応じてその都度、電話や手紙のやり取りができるように支援している。</p> | | |
| 52 | (19) | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共用空間は環境整備を行い、不快や混乱を招くことのないように努めるとともに、室内でも季節感を感じられる装飾をして、居心地良く過ごすことができるように配慮している。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>独りになれる居場所も確保しているが、利用者はフロアで他の利用者と一緒に過ごすことが多い。</p> | | |
| 54 | (20) | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者の使い慣れたタンスや椅子など持参してもらい、本人が居心地良く過ごせるようにしている。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>家具の高さや、床マットの滑り止め、トイレの表示など、利用者個々に合わせた環境づくりを行っている。</p> | | |

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------|----|---|-----------------------|----------------|
| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 利用者の2/3くらい | | | | 2. 家族の2/3くらい |
| | | | 3. 利用者の1/3くらい | | | | 3. 家族の1/3くらい |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | |